様式第１号（その１）（第８条関係）

記入例

令和５年５月〇〇日

公益財団法人埼玉県国際交流協会理事長　様

団体所在地　　埼玉県○○○市△△△―×××

団　体　名　　特定非営利活動法人　埼玉国際協力の会（SKK）

押印は不要です。

代表者氏名　　代表　　埼玉　太郎

連　絡　先　　住　所〒○○○―○○○○　埼玉県△△△市

（注）ここに例として記載した事例が、必ず採択されるわけではありません。

 氏　名　国際　花子

TEL　○○○―○○○―○○○○

様式第２号（その３）経費明細書の「国際協力基金申請額B」の数字を記入してください。

　　　　　　　　　　FAX　○○○―○○○―○○○○

各欄に記入する内容が多い場合は、２ページ以上になっても構いません。

　　　　　　　　　　E-mail　abc@def.jp

令和5年度彩の国さいたま国際協力基金助成金交付申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 助成希望額　　 | 金　４１８，０００　円 |
| 事　業　名 | ○○国△△州における女性就業支援事業 |
| 実施予定期間 | 令和５年７月１日　～　令和５年１１月３０日 |
| 事 業 区 分（いずれかに○） | 県内（協力支援、　食料・物資等支援、　その他）海外（医療、保健衛生、環境保全、教育、人権保護、その他） |
| 事 業 概 要この事業を通じて、直接の受益を受ける人数を記入してください。 | 目的：○○国には内戦で夫が戦死した女性が大勢いるが、就業できず経済的に困窮するケースが多い。そこで、女性の就業支援を行うことで、経済的に自立した生活を送ることができるようにする。内容：女性を対象とした縫製技術の職業訓練を実施することで、女性が専門技術を身につけ、就業できるよう支援する。受益者の人数：　　４０　人 |
| 新規・継続の区分（どちらかに○） | 新　規　　・　　継　続（２年目） |
| 過去２年間の助成事業の実績 | １年目：縫製技術の職業訓練を実施し、訓練生１０名が現地工場に採用された。２年目：今年度実施予定 |
| 他団体からの助成 | 有（名称：○○財団国際協力補助金）・無 |

様式第１号（その２）（第８条関係）

申　請　者（　団　体　）の　状　況

記入例

|  |  |
| --- | --- |
| 団　体　名（正式名称、及び略称等） | 特定非営利活動法人　埼玉国際協力の会（SKK）法人格を正確に記入してください。 |
| 所在地等 | 住所：〒○○○―○○○○埼玉県○○○市△△△―×××TEL：○○○―○○○○―○○○○FAX：○○○―○○○○―○○○○（事務所・個人宅）E-mail：ghi@jkf.jpウェブサイト：http://www.saitama-kokusainokai.jp |
| 設立(発足)年月日 | 　平成２０年６月１日 |
| 構成員数 | 専従スタッフ ( 有 ・ 無 )有給無給の別 ( 有給・無給 )会員の数　　５２　人 |
| 設立目的 | ○○国の内戦後の復興を多面的に支援することを目的に設立された。 |
| 主な活動地域 | ○○国△△州その地域で活動を始めた理由：代表の埼玉太郎が仕事で○○国に赴いた際、現地の女性のおかれた状況を知り、支援をしたいと思ったため。△△州を選んだのは、○○国の中でも復興が進んでいない地域であることと、現地カウンターパートの協力を得られたため。 |
| 主な活動内容 | ①○○国○○州における職業訓練及び農業支援②○○国の復興支援普及のための、日本国内での講演事業 |
| そ　の　他（特記事項） | ・○○大臣賞受賞（平成２２年度）・JICA草の根技術協力事業業務委託（平成２４年度） |